



2020年5月14日

各 位

会 社 名 **ゲンゼ株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 廣地 厚
(コード：3002、東証第1部)
本 社 所 在 地 大阪市北区梅田2丁目5番25号
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション課 小倉 誠
(TEL. 06-6348-1314)

2021年3月期業績予想（連結）の公表延期および 中期経営計画（CAN20第2フェーズ）期間延長ならびに 役員報酬減額と自己株式取得見合わせに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、本日予定しておりました2021年3月期業績予想（連結）の公表を延期すること、2021年3月期をゴールとしていた中期経営計画（CAN20第2フェーズ）を期間延長すること、また2021年3月期の役員報酬減額と自己株式取得の見合わせを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期業績予想（連結）の公表延期について

新型コロナウイルス感染拡大が今後の業績に影響を与える要素となっているものの、現時点では収束の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の通期連結業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で速やかに公表いたします。

2. 中期経営計画（CAN20第2フェーズ 以下CAN20）期間延長について

当初計画では、現在推進中のCAN20の期間を2017年度（2018年3月期）～2020年度（2021年3月期）とし、次期中期経営計画については2021年度（2022年3月期）を開始年度と想定し、検討をスタートしておりました。しかしながら上記1.のとおり、CAN20最終年度の2020年度（2021年3月期）の業績予想が予測困難な状況となっております。

このような先行き不透明な状況下で、次期中期経営計画を策定することは、その信頼性が懸念されるため、現在推進中のCAN20の期間を1年間延長することとし、最終年度を2021年度（2022年3月期）といたします。なお、期間を延長するものの、最終年度の目標値は当初計画通りといたします。

CAN20の延長期間および次期中期経営計画の公表時期

2017年度（2018年3月期）～2021年度（2022年3月期）の5年間といたします。

これに伴い、次期中計経営計画の公表時期につきましては、2022年5月を予定しております。

(CAN20 第2フェーズの経営成績推移 単位：億円)

	2017年度 (2018年3月期)	2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)	2020年度 (2021年3月期) 業績予想※2	2021年度 (2022年3月期) 目標
売上高	1,405	1,407	1,403	—	1,500
営業利益	62	66	67	—	80
営業利益率	4.4%	4.8%	4.8%	—	5.3%
当期純利益※1	34	40	43	—	56
ROA	3.7%	3.9%	4.0%	—	4.7%
ROE	3.2%	3.7%	4.0%	—	5.0%

※1. 当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

※2. 2020年度(2021年3月期)の業績予想は現時点では未定

3. 役員報酬減額について

新型コロナウイルス感染拡大による影響で、当社グループは厳しい経営環境下にあり、2021年3月期の通期連結業績予想も見通しが立たない状況となっています。グループ全構成員が一丸となって経営改善に取り組む必要があることを取締役が率先して示すため、取締役(社外取締役を除く)の月額報酬(2020年5月～2020年9月)については、代表取締役社長30%減額、その他の取締役20%減額いたします。

4. 自己株式取得の見合わせについて

中期経営計画「CAN20 第2フェーズ(2017年度～2021年度)」では、連結配当性向50%と自己株式の取得を合わせ「総還元性向100%」を目安に株主価値の向上に努めておりますが、2020年度の自己株式取得については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う金融市場動向および当社業績への影響が不透明なため、当面は見送りとし、業績見通しが公表できる段階となってから、改めて検討する予定です。

以 上